

科目名称	人体の構造と機能Ⅴ(栄養・排泄)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30
担当教員	西川 裕喜	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (医師) ☐ 無	

【1】授業概要

『人体の構造と機能』でこれまで学習してきた内容を踏まえ、病気やその診断・治療に関する簡単な内容も積極的に含めながら授業を行う。人体の栄養供給とその排泄に関わる消化・代謝・腎・泌尿に関する構造と機能を学ぶ。

【2】学習目標

1. 消化器系、泌尿器系、生殖器系の解剖生理を説明でき、関連する重要な疾病を挙げることができる。
2. 栄養と代謝では代謝疾患、特にメタボリック症候群の理解に必要な基礎知識を説明できる。
3. 体液の範囲では、救急時に重要になる輸液管理に関連した生理学を説明できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☐ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	消化管の一般的構造、上部消化管と肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能	講義
2	嚥下の仕組みと神経、関連する疾病	講義
3	栄養素の吸収、大腸、肛門、痔、栄養学的重要性、所要エネルギー、糖、タンパク質、脂質について①	講義
4	栄養素の吸収、大腸、肛門、痔、栄養学的重要性、所要エネルギー、糖、タンパク質、脂質について②	講義
5	エネルギーの摂取過剰とメタボリック症候群、糖尿病、ビタミン、主要栄養素の代謝とATP産生、脂質(中性脂肪とコレステロール)①	講義
6	エネルギーの摂取過剰とメタボリック症候群、糖尿病、ビタミン、主要栄養素の代謝とATP産生、脂質(中性脂肪とコレステロール)②	講義
7	腎、尿管、膀胱の構造、尿の生成、腎臓の重要性、腎不全、排尿の仕組みについて①	講義
8	腎、尿管、膀胱の構造、尿の生成、腎臓の重要性、腎不全、排尿の仕組みについて②	講義
9	体液の重要性(pHと電解質) 酸塩基平衡の仕組み	講義
10	呼吸機能、腎機能と体液の恒常性維持の仕組み	講義
11	生殖器系の構造、精子の産生、性周期とホルモンとの関連、妊娠	講義
12	第11回に関連する疾病について	講義
13	妊娠の維持と胎児の発達、各臓器の発生、胎盤とホルモンについて①	講義
14	妊娠の維持と胎児の発達、各臓器の発生、胎盤とホルモンについて②	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

多枝選択式試験と記述式試験の組み合わせで行う。

【6】教科書

坂井 建雄:系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学(第10版) 医学書院 2022(電子版)

【7】参考書

随時紹介する

【8】受講生へのメッセージ

栄養と代謝では、栄養学・生化学との関連を重視した授業を行います。腎臓や体液など救命救急に特に重要な内容を含みます。